



# 海外トピックス

第一号



昭和  
二  
二  
七  
二  
五  
局

## 目次

### 一、アメリカ

- (一) ネクタイで景気の見通し
- (二) ハンド・バグ税をめぐる論争
- (三) 好況のアメリカ映画界
- (四) フォード王国の将来
- (五) ヨーロッパ見物は出来るようになったか

### 二、イギリス

- (一) チャーチルの回顧録
- (二) ミスター・ジヨン・パルの生活振替
- (三) イギリスの工業分散計画の実施

一 二 三 五 七 八 九



三、ドイツ

(一) 今般「言必勝」

——ドイツ版権の近情——

(二) 食糧秋虫に兵力を費す用意がある

——アメリカのドイツ食糧政策——

四、中国

(一) インフレーションの近情

(二) 戦後の準備

——中国密貿易の実情——

(三) 香港にお土産の買出し

——通商の本国特權の爲め——



一、アメリカ

(一) ネクタイで景氣の見返し

シカゴ市のネクタイ製造家であるアーサー・ヒルシュが一般の人々がどんなネクタイを着けているかによつて、景氣の動向を知ることができるとの珍説を発表した。しかしこの珍説にはそれ相当の理由がある。ヒルシュ氏は曰く、

「おやじさんたちが着るネクタイを眺めると、景氣は明らかに下向きに転じた証拠である。というのはお手許が不細意だと感じれば、ネクタイをする氣持にならず、またおやじさんネクタイは少々度々取替へなくては人に氣づかれないで済むし、どんな襟が新しいネクタイを買わなければ、奥様もほほしい毛皮の外套をせびるのを差控えることとなる。」

これに反し、殿方たちが着るネクタイを眺めると、それはたしかに好景氣の前兆である。襟が緩めければ氣分と自然浮き上がり、おやじさんネクタイとして来て、おやじさんネクタイとして去るし、第一襟はけぱしい柄は人目をひきやすいから、勢い毎日のようにネクタイを交換しなければならぬといふことになる。どんな襟がネクタイを賣りに賣うことになれば、奥様もやれ新しい服だ、自動車を買いたい、一寸旅行してみたいといふことになる。」

一九三〇の年から三二年にかけてネクタイの色合はたしかにじみであつた。しかるに、戦争中には誰と彼と襟具合がよくなつたので、その柄は断然派手になり、しかも人々はその派手なネクタイ



イを毎日のように変えていた。

現任は再びネクタイがじみになつて行く傾向が明らかになり認められる。不況時代の来る前兆である。だが今年中はまだ大丈夫だろう。問題は明年に入ってからである。(ヘリド)

## 二、ハンド・バタ税をめぐる論争

米国の下院では目下一九四八年歳入計画の一つとして、婦人のハンド・バタに二割の奢侈税を賦課しようとする法案を審議中だ。

これに対して当然のことながら御婦人たちの方から猛烈な反対が起つて、リパ通信社のいりゆる「両性の戦い」にまで発展している。この戦いの女将は女性を代表してニューヨーク婦人クラス連盟のカリー・ウエークマン女史、男性を代表して下院歳入委員会のハロルド・クヌートソン委員である。通説の歳入委員会の公聴会ではこの二人の間にハンド・バタ税をめぐる猛烈な応酬が行われたが両者の主張を紹介すれば次の通り。

ウエークマン女史

私が調べたところによると殿方たちは外食をも含めると少くとも二〇以上のポケットを持つている。ところが婦人の着物にはポケットは一つもなく、ハンド・バタがただ一つの頼りです。婦人どポケットをつけたらいいがやないかというかど知れないが、婦人の衣裳のことを一寸で知つてゐる人は、こんな暴論は吐かないでしょう。

これはたしかに男女同権を無視した暴論であり、もし米国の議会に少し婦人議員がいたなら

外の二

ば、このような悪税法は決して成立しないでしょう。ハンド・バタに税をかけるならば、ポケット税というのと当然出て来なければなりません。

クヌートソン議員

御婦人がハンド・バタ税に反対するなら、何故少し頭を働かせて婦人の着物にもポケットをつけるようにしないか。私はアメリカのあらゆる法律を調べてみたが、婦人服にポケットをつけてはならないという法律はついに発見できなかった。(ヘリド)

## 三、好況のアメリカ映画界

昨年米国人が映画館の入場料に使つた金は一大億と云ふ新記録をつくつた。これは今までのレコードだつた一九四五年よりさらに一〇%多い。串に依り百円として計算すると、一六〇の億円だからすごいものだ。

映画館がこんなに繁昌した理由は何かというと、まず第一は、国民の所得がふえたことである。統計によると、映画館の収入は、大卒、国民所得に比例して増減している。

と一つ理由は、一寸妙な話だが、戦後の住宅難である。戦後復員兵がドツと帰国したので、住宅問題はイギリスや日本のような戦災国に陥らず、アメリカで大きな問題となつてゐる。せめて立派な映画館へで入つて、沢山の気分を味つてみたいというのである。どつと日本のようにバラック建の映画館にすし詰りにされるんでは、こんな気分を味うことなどは忍びたくない。しかし、一部屋に大勢の家族と住んでいるような生活では、若夫婦が語を樂しむには映画館が安福にして



絶好な場所なのである。

第三の理由は戦後娯楽に費す金が乏したことである。アメリカでは娯楽といえど何といつてと映画が第一で、当分の間に代るとは兎も知れない。自動車が生産が少つとふえれば、夏のうちは自動車映画の最大の競争相手となるだらうといわれるが、日本人にはこう聞いただけでは頭にピンと来ない筈である。

アメリカの映画事業の純收入の四〇％は輸出によるものだが、そのうち六〇％はイギリス向けである。イギリスは依然としてハリウッド最大の顧客だが、イギリスでも戦後映画事業の大拡張に乗出したから、将来はイギリスの映画はアメリカ映画の大敵となるだろうとみられてゐる。アメリカは労働保護の頻繁と製作費の高いことで競争上苦しい立場にある。

將來映画の大敵とみられてゐるのはテレビジョンである。ハリウッドでもテレビジョンの発展には重大関心を拂つてゐるが、戦後急速な進歩を遂げるだろうという一般の予想を裏切つて、今のところテレビジョンの普及はまだまだ遠い話で、ここ数年のうちに映画界が影響を受けるやうなことは先づあるまい、とハリウッドでは胸を撫で下している。

なおアメリカの映画界では外国に十六ミリ映画の映画館の建設を計画している。この新型映画はまだ試験の段階を出ないが、大いに将来性があると見られてゐる。

大  
方  
二

(四) フォード王国の將來

商額所得者の税負担

最近死んだ自衛軍王ヘンリト・フォードは一代にして一〇億の富を築いたが、これからはアメリカでと彼のような人間が出なくなるだろうといわれ起っている。何故かというのと、それは税金が高いからだ。フォード王国が暴かれた頃はアメリカには個人所得税といふものはない。法人所得税がはじめて設けられたのは一九〇九年で、税率は僅かに一%、一九三二年までは最高一三%を超えなかつた。ところが、今日では、個人所得税は最低一%からはじまつて二〇万弗以上八六・四五%という高率である。だから個人で大きな資産を蓄積することは殆んど不可能となつた。会社と純益の三八%を税金にとられるから、事業拡張と努力制約されることとなる。個人の金持にはこの他に相続税がある。大万弗以上の財産の相続には三%以上の連邦相続税がかかり、一、〇〇万弗を超える額に対しては七七%の高率が課せられる。例えば五、〇〇万弗の財産の相続税は約三七〇万弗となる。税金が昔と違つてさうなにかうなつた今日では、フォードのような工業王国を築き上げることが不可能に近いことだし、夜にぞきたとして、これに維持して行くことは極めて困難である。フォード王国の将来がどうなるか。本国財界で話題の中心となつてゐるが、恐らくフォード家では相続税を支拂うために持株の一部を処分しなければならぬといわれ起っている。(ヘビネスウィーク)

五、ヨロツパ見物は出来るようになったが

終戦後ヨーロッパへ行く刀×リカ人は役人と商賣上必要は実業家だけに限られ、一般の旅行者の



物更遊山は禁止されてゐた。國務省は最近この禁止令を解除した。  
ところが禁止は解けても、まだまだおいそれとはヨーロッパ見物には行けない色々むづかしい條  
件がついてゐる。

まず旅券の申請書には帰りに船便なり航空便を予約してあること、行く先々でホテル若しくは  
食物と海苔の設備を予約してあることの証明書を附けて出さなければならぬ。

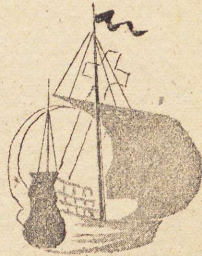
戦前には一番暑い時で一ヶ年約二六万人のアメリカ人がヨーロッパへ旅行した。酒舎や輸送機関  
の制約で、今年は七万人が精々というところだそう。輸送機関の問題が解決して、どこへでも  
行けるという訳には行かない。ソ連、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリーなどソ連の勢力圏内  
にある東ヨーロッパの旅行は不可能だ。そのほかの国でもホテルや食事は至つて窮乏だし、貨幣価値  
が不安定だから、安心して旅行とできない。まず比較的心配なく旅行のできるのはイギリス、スウ  
イス、スカンデナヴィア諸国、フランス、オランダというところらしい。

交通機関の発達で世界の距離が短縮されたというのに、思うところへ旅行とできないとは、全く  
皮肉な現象だ。

旅行信用状を腰にスーツケース一つ携えて廻る所へ行けるようになるのは、果して何時のことな  
らう。(タイム)

## ニイギリス

(一) チャーチルの回顧録



高額原稿料に対する高い所得税

今度の戦争での最大の立役者ウィンストン・チャーチルが、メモアール(回顧録)を書いてゐる  
というので、氣の早い米国人は、どう去年の十一月、版權をうつてゐるテリー・デララフ紙の  
社長カムロリーがニューヨークにきた當時から、交渉を始めた。

今度ニューヨーク・タイムズ紙とライブ誌が新聞雑誌の連載権を得、ホートン・ミフリンという  
ボストンの本屋さんが書物としての出版権を手に入れた。本屋さんが拂う版權料は判らないが、ニ  
ューヨーク・タイムズ紙とライブ誌の連載料が二〇〇万ポンド以上というのだ。ニューヨーク・  
タイムズ紙の書評によれば二〇世紀における最も重要な歴史的文献だというのだから、無理  
もあるまい。

ところでそのうちどれだけが、筆者チャーチルの腰に入るか。一〇〇万ポンドをイギリス貨幣に  
換算すれば、二五万ポンドだが、一ポンド(二〇先令)について十九先令六便士(の所得税をイギリスの大蔵省に納  
めねばならぬ)のだから、手取りは僅か二万五〇〇〇ポンド、イギリス貨幣で六二五〇ポンドということにな  
らう。(ニューヨーク・タイムズ紙五月一日)



(二)、ミスター・ジョン・フルの生活

大連調査の結果として現れた英國人の平均は大体次のようになる。

彼は、二五年乃至四年まで、五人家族の一人として生れた。幼時、彼の家の収入は一週間に三〇ポンド乃至三磅一八先令であつた。彼は小学校に通つた。現在、彼は身長五呎七時半、体重一八八ポンド、腕子のサイズは大ク、カラーは一五吋、靴型は八である。

二八歳で結婚し、子供が二人ある。週収入は五磅乃至大磅一〇先令で、一九三九年より大五%の増加だが、生計費は政府の計算で八五%高になつてゐる。税金は直接、間接合せて年一九大磅を納める。

一日八時間労働で昼食が一時間ある。庭いじりと大工の真似が趣味だ。日刊新聞、日曜新聞各一つ取るが、好きな記事は事故、天災、地元のニュースで、犯罪、離婚等。讀書の余暇がないといつて、めつたに著物は買わず、毎週図書館から一冊借出す。

クリスマスではあるが、あまり教に行かず、子供を日曜学校にやる。映画を週二回、蹴球を一回見るが、ラグビーよりサッカーが好きだ。好きな戶外運動は散歩と自転車(自動車をもつてゐるのはいくつかの約四%にすぎない)。

好きな飲物はビール。ビールが戦前より弱くなつたせいだ。飲む量が二倍になつた。煙草は一九三九年には毎週八五本の紙巻をすつたが、いまでは一〇本(手に入れず)又は相当量の刻みをすつ。戦前は毎週一箱の服を新調したが、いまでは衣料切符は妻君に渡す。

戦争直前の一週の家計は食物三四先令、衣料八先令、燃料六先令、家賃一〇先令、その他二五先令であつたが、いまでは食物三磅、燃料一先令、家賃一五先令、衣料一〇先令になつてゐる。そのほか煙草七先令、新聞一先令六分、娯楽六先令、保険四先令六分の支出がある。食物費では最近野菜や果物の支出が大分増加し、パンや穀物の代が少しふえ、脂肪代は配給減のため減少した。大抵の目、肉、肉類、魚、魚類、穀類を食べるが、ベーコン、腸詰、ブランチ、生果物はいつもあるとは限らない。パンは小さいのが週四個、魚は大オンスと少しである。人参よりかぶやキャベツが好きで、甘い物は好まない。

妻君は二六歳で結婚し、二年のうちに最初の子供が生れ、その四年間で次が生れた。三五歳になるともう子供を生む年齢ではないと考へてゐる。一般に妻君の方が大まら着物はよいが、衣料切符は大抵子供に分にする。

現在約二〇〇万世帯(全世帯数一三〇〇万世帯)が他の家族と同じ家あるいは同じ家で暮らしている。ロンドンおよびポロスターの最近の調査では、結婚後五年以内の夫婦の五六%は親類と一緒に暮らしている。自分で一家を構へてゐるのは大%に過ぎない。(ニューズ・レカムウ)

(三)、イギリスの工業分散計画の実施

イギリスの戦後計画のうちで最も重要視されてゐる工業分散計画の進捗状況が、このほど公表された。この計画は二年までに議會を通過したもので、單に工場を分散ばかりでなく、工業の一大核



張を狙つた非常に過期的なプランであり、われわれ他山の石として研究すべき勇敢な遠大な政策である。

この計画が立案された時、イギリスはまだ戦争のさなかにあつた。イギリスの労働人口二一五〇万人のうち一〇〇万人は軍隊に、一〇〇万人以上は軍需工業に動員されていた。イギリスの住宅は三軒に一軒の割で爆撃のための破壊されていゝという状態であつた。しかしイギリス政府は、戦争の終結を待たずに、この計画を実行に移した。

その主眼とするところは、工業の戦時体制から平時体制への統制制の切換えばかりでなく、重工業地帯への軽工業の移入、これに伴う一億二〇〇〇万磅の予算による新工場建設である。この計画が発表された後、労働力と資材の不足にも拘らず、過去二ヶ年間に三六五の工場の建設が着手された。すなわち二日に一工場の割合である。これらの軽工業工場が完成すれば約九万の人に職を與えることになるが、すでに完成された工場だけでも一、八〇〇万磅の注文を受けている。

以上は政府資金による計画だが、この外に、民間資本によつて一六〇工場の建設が許可された。これらの工場は合計七万以上の人に職を與えるが、そのうち八六が完成し、残りは目下建築中である。

新工場の建設地帯は主として南ウエールズ、北、西および南東インタランド、南スコットランドで、従来不況地帯といわれていた所である。なぜそうよばれてゐたかというところ、これらの地帯は二の重工業にその繁栄を依存してゐたため、不況がくるといつと、最先に打撃を受け、イギリスで失業地帯といわれてゐた。ところが、工業分散計画による軽工業の移入によつて、この地帯の人々

は色々な軽工業に従事することができるようになつた。

仕事の種類は原料から家具、靴、食料品、織物で、若干の工場はその地帯の重工業に必要な機具を生産する。例えば、東北地方の一工場は北部の炭坑で使う探炭機を製造してゐる。この新開発地帯の人口はイギリス全体の七分の一に過ぎないが、新しい工場の三分の二はこの地帯に建設される。

戦争前の一九三二年から一九三八年まではイギリスに新設された工場の八割は人口過半の大ロンドンに集中され、イギリスの工業分布は非常に不健全な状態にあつた。工業分散計画はこの状態に根本的改善を入れたもので、これによつて長期的生産と労働力の合理的配分が実現されることとなつた。この計画の実施には幾多の困難が伴つたことはいふまでもない。國家百年の大計を頭に置いて断乎これを実行した例は、イギリス政治家のイマジンネーションがあると云う。(L. P. S.)





### 三、ドイツ

#### 一、今様「青島」

ドイツ通貨の近情

ミューンヘンの市街電報。爆撃でこわれた窓をベニヤ板で張つた室内は暗かつた。軍警が初符を切りにくると、一人の老婦人は財布から五の片貨を取出そうとして、單の揺れるはずみに床に落してしまつた。五の片はアメリカの五仙にしか当らないが、いまだお嚴重な物価便飯餓饉下に暮している普通のドイツ人には、五の片はやはり五の片なのである。老婦人はしゃべりて、暗がりの中を落した錢を探したが、見付からない。軍警にも見付からなかつた。

すると一人のポーランド兵士がマツキをとつて勘付けに承たが、錢のみつからないうちに、マツキは燃えつきてしまつた。兵士はつぎやきながら、ポケットからドイツ紙幣の束を取出し、大きな二の馬克へ二枚づつて火を点け、五の片貨を見付けて、笑いがから老婦人に渡した。二の馬克の燃え残りは窓からぽんと投げ捨てた。(ハイム)

#### 二、食糧供出に兵力を使ふ用意がある

米國のドイツ食糧政策

去る五月三十一日、米國農務長官ノリス・ドット、陸軍省占領地食糧課長トレイン・ツリース、

四の肉

國務省ドイツ・オーストリヤ課長ヤールス・ギンドルバーガーの三氏が、ドイツ食糧問題に關し放送對談會を行つた。それは日本の食糧對策に關して承談を与えるところが少くない。以下は三氏の放送要旨である。

ドット氏、われわれはアメリカ國內に多量の食糧を待つてゐるが、有蓋貨車老朽化の進行状態は新貨車補充の速度より速く進んでゐる。

カリス氏、歐戰國ドイツに食糧を供給することは、經濟的に健全なドイツを建設するために必要である。經濟的に健全なドイツの建設こそ米國對外政策の重要な礎石である。もしアメリカがドイツ占領地帯を餓えさせるようなことがあれば、どこに眞空状態を作り出すことになり、延いては運送つけないことになる。

ギンドルバーガー氏、ドイツは現在食糧危機を切り抜けるため、充分な努力を怠らない。その責任の一半はドイツの指導權が余りに弱い点にあり、他の一半はドイツ農民の生産供出を促進する刺激が与えられてないことにある。これに對してはわれわれにも責任がある。われわれは余りに早く戰時体制を解き過ぎた。しかしこれはドイツを民主國家として國際社會に復帰せしめるという積極的な占領目的を持つてゐたからである。もしわれわれがヨーロッパを安定させようとするなら、ドイツの力を必要とする。われわれが他の諸國の食糧需要を賄ふ人としてドイツに飢餓状態をもたらすならば、民主的ドイツを建設するというわれわれの希望は遙かに後退するであらう。

ベルリン五月八日発ニューヨーク・タイムス特電によれば、ドイツ占領地アメリカ軍政監ルンパ



ス・クレイ大將はドイツの食糧危機について激激な態度をとり、もし農民が運搬食料を出さなければ、場合によっては必要な軍隊を派遣させる意向だと語った。同大將はいう。通貨が価値を失うという理由で、農民は食糧を肉と運搬してあり、大衆は農民にこれが引渡すを要求している。もしこれが大敗に終れば、自分は悪い方々の行動をとる用意がある。自分は農民の食糧ストックを接収するであろう。とにかく、自分はここに軍隊を持つてゐる。次に、新聞記者から「あなたはアメリカ、イギリス合同委員会から食糧管理権を回收するつもりであるか」という質問が来た。これに対し、同大將は「自分はドイツ人にとつて多くの権限を移譲するつもりだ」と語った。イギリス側ではドイツ人の能力を非難し、軍政府がドイツ人に与えた権限を取戻すよう勧告しているが、アメリカ側は紙上の行政権を与えるばかりでなく、これを完成する力を与えようとしている。今日までの力がなかつたため、ドイツ食糧相の使食遂行が妨げられていたのである」とヒューヨーク・タイムスは報載している。(ヒューヨーク・タイムズ)

## 四 中 国

### インフレーションの近情

——貨幣増量と実行まかせ——



中国で一番事情に通じているといわれる専門家たちの意見で、内戦とインフレーションのために全く救きざしならなくなつた中国の経済は、何か奇蹟で経済が完全に行詰りの状態に陥つてしまつたことを卒直に一致して認めている。さて、その行詰りという点になると、誰にも何らの意見がない。

大月中の僅か三週間で中国の生計費は二倍になつた。かつて一アメリカ米對三元だつたことのあつた中国通貨は、現在では、一自由しすなわち闇市場では、一米對三万元、公定相場でも一米對一万二〇〇〇元である。

政府の予算は、去る二月一日には、九五兆元と一決定められたが大月に入つてこれに二〇兆元と改められた。しかも、陸軍当局は軍隊維持費だけで二七兆元を要求しており、予算が四〇兆元になるのは向をなくのこととされている。これに対し輸入は一〇兆元・結局三〇兆元の赤字が出るわけである。

現在中国で打われている取引は殆んどバーターである。誰でさきよう五〇万円で手放したものが



一六

あすになると一〇〇万円で売れるというような状態を、見たくないのは当然だ。これと同じ理由で、たとえアメリカ半資金を持つている商社とアメリカ形で貨物を買入れることを手控えている。

紙幣は普通五〇万円の束に成っているが、その厚さは大抵八吋である。誰と紙幣を一枚々々数えるというやうなめんどうなことはしない。

粉ミルク一二封袋は五月五日には三六万円だったが、その翌日には五四万に値あがつた。

これは、たとえアメリカ半に換算したところで、べらぼうな値段である。

上海の家を借りようとする。その金利金としてアメリカ半で五〇〇半から二万五〇〇半を支拂わなければならぬ。しかもに政府官吏の上の方の箱で、その受取る俸給はアメリカ半にして月僅かに一五半から二〇半に過ぎない。

米は一ピクル三〇万円するが、その値段は一般人は一寸手が出せない。

新聞の報道によると、大月中旬の二週間に、上海で八〇〇〇の子供の死体が街路に捨て去られてあつたが、その死因は殆んどすべて營養失調、別の名でいえば餓死である。しかも上海は奥地にくらべればまだいい方だ。

ある新聞人はゼネ・ストが起りそれが革命にまで発展するだろうといっている。しかし、いま一人の新進人は、「中国人はむしろ一氣に死ぬより徐々に餓死することになるだろうから、こうした革命は起るまい」といつている。

上海では毎日のように米騒動があつて、米屋が何回も襲撃されている。だから大抵の米屋は閉鎖し、米商人たちはまた彼らで警察に保護を要求するデモをやつてゐる。

内五

一方、中国の内戦は停止するところを知らない。国共軍と中共軍との戦闘は、いまや、完全に本格的な戦争となつた。最初、国共側は中共軍が速くと九月までには降服するだろうと、左かをくくつてゐた。しかし現在では全くな樂觀論を口にする者はない。結局、インフレーションと同様、事態がどこまで悪化するの見当がつかない。

最近到着したアンラの代表ハ・ラン・クリューランド氏は、中国内戦の状態を見て、中国救済物資を北支と南支に半分ずつ分けたらいいだろうと主張している。しかも、国共軍側は最近北支向けのアンラ物資を積載した船をおさえました。中共軍との戦いはいまや本格的な戦争だから、敵軍に渡る物資をおさえるのは当然だといふのである。

一部ではアメリカの借款が中国経済を支える上で大きな役割を果たしてゐるだろうと見てゐる。これと、結局、中国政府の本年度赤字の幾分かを補うに過ぎない。中国経済を安定させる程の力はあるまいとの見方が有力だ。

輸送貿易の前途を極めて心細く、ある一流の輸出業者は、その理由として、「中国は過去常にその安い労働力を輸出してゐた。すなわち安い物資を輸出出来たのである。しかもに現在では安い労働力が得られなくなつた。結局中国は輸出できないということになる」といつてゐる。

## 四 海戦の準備

中国海貿易の衰微

中国政府の税関当局は中国近海で「小規模な海戦」の準備を盛めてゐる。これは、近頃立つて



増加した密輸貿易に敵愾を下さんためである。すでに税関当局はスウェーデンから多数のエリコンのミリ機関砲を輸入する註文を発した。これらはいずれも高価の密輸監視艇に裝備されることになつてゐる。

しるに、速早くこれを聞き知つた密輸業者の方で、その對抗策として、最近マニラから少くとも大隻のアメリカ製高速哨戒艇を購入したようだ。これらの哨戒艇はそのスピードが中国政府のあらゆる監視艇にまさるばかりでなく、充分な武装をもち、コンウエイを組む密輸貿易船を保護し監視艇が攻撃してきた場合には、これと交戦する用意があるようだ。

密輸貿易。さらに正確さを期するならば「記録されない貿易」といつた方がよさうだ。その額については色々推測されてゐる。だが、香港の場合では、その正規貿易額の少くとも二五%から五〇%位にあたる額が密輸額とされてゐる。本年第一、四半期における香港の正規貿易額は一億二七〇〇万アメリカ幣だつた。しかし、密輸の行われてゐるのは香港だけではない。南支方面ではそれ以上に広東、マカオ、アモイ、汕頭などその中心である。内陸では遠く漢口にまで及んでゐる。密貿易船は三本マストの大型モーター・ジャンクである。速達の点では、税関の監視艇に遠く及ばないが、通常最重な武装を持ち、あらゆる種類の火砲が裝備されてゐる。そのなかには前世紀の遺物たる砲身のさきから弾込めする旧式な大砲が含まれ、こうした旧式砲は蹄鉄、古釘、屑鉄などあらゆる種類の「弾丸」を発射する。

密輸貿易業者はいわゆる「なんでも屋」で、あらゆる種類の商品を扱う。その主なものは禁制品あるいは中国で非常に品不足を来してゐる煙草、薬品類、化粧品、綿製品、ウオルフラム、米、銀

製品などである。密輸業者はその扱う品物の価格の一割から一割五分を受取るのが普通とされてゐる。

消息筋によれば、中国の密貿易はその殆んど大部分が中国政府の高官と何らかの關係があるといわれる。「賄賂」によつてこれを黙認するとか、あるいは更に進んで自らこれに一枚加わつてゐる高官もある。

この商売で生計を営む「密輸正業者」以外に、一取引か二取引に關係してほろいしうけをする「飛入り者」がある。このうちには、中国海軍將兵あるいは中国政務委員会の支那人雇員などがあるといわれる。

最近中国海軍部の高官が海軍將兵の密輸問題調査のため広東に乗り込んだが、この調査の結果、二〇名の海軍將校は左遷され、二名が自殺をとげた。

他方、政務委員会当局と目下部内の密輸活動を調査中だが、最近広東で税関当局によつておさえられた政務委員会所有船の一隻には禁制品である銀貨、綿製品などアメリカ幣にして四万幣もののがかくされてあつた。

### 三 香港にお土産品の買出し

進駐軍の本国帰郷品のために——  
香港にしばしばやつて来る人々のうちに、アメリカ陸軍省の代表 J. W. ラインズ氏がある。彼の仕事は日本に進駐してゐるアメリカヤイリズの兵隊たちのために、香港その他の南支各地で支那



産の贅沢品を購入することである。

ライシン氏がしきりに買い集めているのは各種の絹製品、支那服、象牙、銀製什器、リネネル類、チ、ク材や黒檀の家具類など日本にある進駐軍が本国に土産品として持ち帰りたいものである。しかも日本では手に入れたことの出来ない品々である。

目下日本には進駐軍將兵約一〇万これに一万からの婦女子がいる。こんなわけで、ライシン氏の誦達しなければならぬ土産品の量は頗る多い。彼が香港を訪問したのはこれで五回目。しかもこの前やつて来た時だけでも、香港で一〇万米幣以上の買物をやつた。しかも、彼は香港だけでなく

広東、汕頭、上海などで同様の買物をやつている。

ライシン氏の謂るところによれば、日本にある進駐軍用のPXは非常に大掛りなもので、特に東京、横浜、神戸、京都などにあるPXは全く百貨店といつていい程の大規模なものだといわれる。

（U P）